

ターボ HD

TVI タレット & バレットカメラ

ユーザマニュアル

UD.6L0201D1937A01

弊社の製品をご購入いただきありがとうございます。ご質問、ご要望がございましたら、お気軽に販売店にお問い合わせください。

このマニュアルは以下に対応します

タイプ	モデル
タイプ I	DS-2CE16D1T-VFIR3
タイプ II	DS-2CE56D1T-VFIR3 DS-2CE56D1T-AVFIR3

このマニュアルに技術的に不正確な点や印刷上の問題がある場合があります。内容は通知なしに変更される可能性があります。

更新はこのマニュアルの改版時に追加されます。弊社では、マニュアルに記載された製品や手順は迅速に改善・更新していきます。

プライバシーに関する注意

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。この製品を監視目的で利用される際には、製品のご利用が、お住まいの地域裁判管轄地域のすべての関連法に違反しないことを確認してください。

カメラのパラメータおよび機能については、製品の使用をご確認ください。

0100001050330

規制情報

FCC 情報

FCC 準拠: この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定される、デジタルデバイスの制限に適合することが確認されています。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書にしたがって設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。住宅地域でこの装置を運用する場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザ側の負担で干渉に対処する必要があります。

FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件にしたがうものとします：

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. このデバイスは望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉受信を受容しなければならない。

EU 適合宣言

この製品、および一該当する場合には一提供される備品も含めて、「CE」マークの認定を受けており、低電圧指令 2006/95/EC および EMS 指令 2004/108/EC、RoHS 指令 2011/65/EU に規定される、関連する整合規格に適合しています。

2012/19/EU (WEEE 指令)：この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。より詳細な情報については以下をご確認ください：www.recyclethis.info

2006/66/EC (バッテリー指令)：本製品には、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。より詳細な情報については以下をご確認ください：www.recyclethis.info

特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。より詳細な情報については以下をご確認ください：www.recyclethis.info

1 概要

1.1 製品の特長

このシリーズのカメラは先進的な回路設計技術による新世代の高感度センサーを搭載しています。高解像度、低歪曲、低ノイズといった特徴を備えており、監視システムや画像処理システムに適しています。

- 高性能 CMOS センサーと高解像力による高品質な映像；
- 低光量対応；
- 設定可能な OSD メニュー、パラメータ；
- オートホワイトバランス、オートゲインコントロール、電子シャッター制御をサポート；
- 画像エフェクト調整に対応；
- ユニット送信制御；
- 様々な設置要件に対応する先進的な 3 軸設計。



カメラのモデルによっては OSD メニューをサポートしていません。実際の操作については各モデルの仕様を参照してください。

1.2 概要

1.2.1 タイプ I カメラの概要

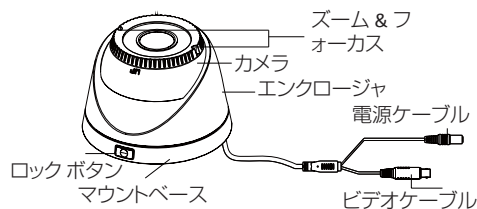


図 1-1 タイプ I カメラの概要

1.2.2 タイプ II カメラの概要

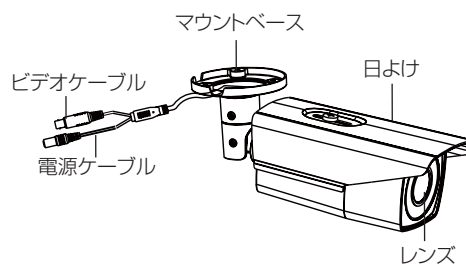


図 1-2 タイプ II カメラの概要

2 設置

始める前に:

- パッケージの中の機器の状態に問題がなく、すべての組立部品が含まれていることを確認してください。
- 設置の際は、すべての関連装置の電源がオフになっていることを確認してください。
- 設置環境に関連する製品の仕様をチェックしてください。
- 損傷を避けるため、電源供給が電源出力に適合していることを確認してください。
- 壁面が、カメラとマウント部品の重量の三倍の重量に耐えられる十分な強度を持っていることを確認してください。
- 壁面がセメントの場合、カメラの取り付け前に拡張ネジを打ち込む必要があります。壁面が木製の壁である場合、セルフ タッピング ネジを利用してカメラを固定することができます。
- 製品が正しく機能しない場合、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。修理や保守のためにカメラを自分自身で分解しないでください。

2.1 タイプ I カメラの設置

方法:

1. 同梱のドリルテンプレートにしたがい、ドリルで天井にネジ穴とケーブル孔を開けてください。

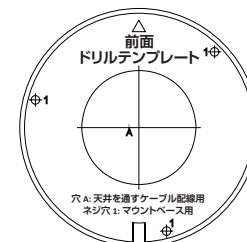


図 2-1 ドリルテンプレート

2. ロックボタンを押してカメラをマウントベースから取り外します。

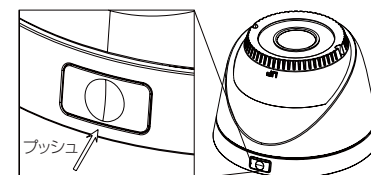


図 2-2 ロックボタンの取り外し

3. マウントベースを天井に固定します。
4. ケーブルをケーブル孔を通して配線し、対応するケーブルを接続します。
5. カメラを同梱のネジでマウントベースに固定します。設置の際は、カメラの「上」と書いてある面を上にするようにし、画像が正しく表示されるようにしてください。

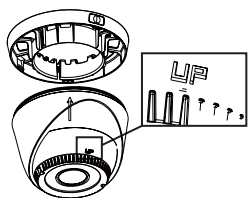


図 2-3 カメラの固定

- カメラを下図にしたがって調整し、最適な角度に合わせます。

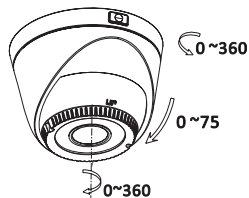


図 2-4 ユニバーサルアジャストメント

- 最適な画像が得られるようにドライバーを使ってズームネジとフォーカスネジを調整してください。

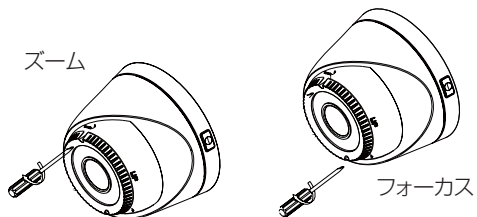


図 2-5 ズームおよびピント調整

2.2 タイプ II カメラの設置



タイプ II バレット型カメラにはウォールマウントと天井マウントのどちらも適用できます。この節では天井マウントをサンプルとして取り上げます。ウォールマウントを採用する場合も、天井マウントの手順を参考にすることができます。

方法:

- 同梱のドリルテンプレートにしたがい、ドリルで天井にネジ穴とケーブル穴を開けてください。
- 同梱のプラスチックの拡張ボルトをネジ穴にハンマーで打ち込みます。

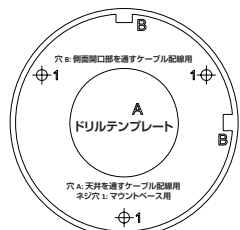


図 2-6 ドリルテンプレート

- ケーブルをケーブル孔を通して配線し、対応するケーブルを接続します。
- 同梱のネジでカメラを天井に固定します。

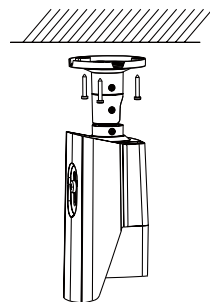


図 2-7 カメラの天井への固定

- 監視角度を調整します。
 - 1 番調整ネジをゆるめ、パン位置を調整します (0° ~ 360°)。
 - 1 番調整ネジを締めます。
 - 2 番調整ネジをゆるめ、チルト位置を調整します (0° ~ 90°)。
 - 2 番調整ネジを締めます。
 - 3 番調整ネジをゆるめ、回転位置を調整します (0° ~ 360°)。
 - 3 番調整ネジを締めます。

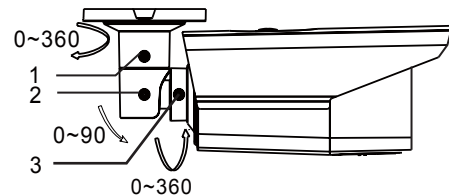


図 2-8 3 軸の調整

- フォーカス & ズーム調整カバーを上方に押し取り外してください。
- 最適な画像が得られるように、カバーをドライバーとして使ってズームネジとフォーカスネジを調整してください。

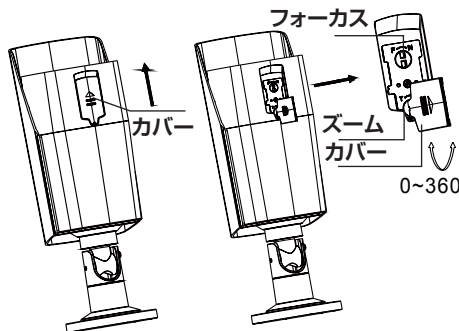


図 2-9 ズームおよびピント調整

3 メニュー操作

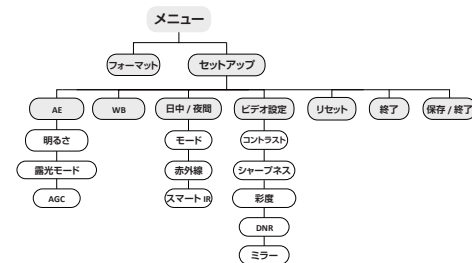


図 3-1 メインメニュー



同軸カメラコントローラ (別売り) か、またはプリセット番号 95 を呼び出し、メニューを選択することで、カメラパラメータを調整できます。

3.1 フォーマット

フォーマットは PAL/NTSC のいずれかに設定できます。

3.2 セットアップ

カーソルを [セットアップ] に移動し、メニューボタンを押してセットアップサブメニューに入ります。

3.2.1 AE

カーソルを [AE] に動かし、**輝度**、**露光モード**および **AGC** によって画像の明るさを調整できます。

輝度:

輝度は画像の明るさのことを指します。

露光モード:

カーソルを [露光モード] に動かし露光モードを [球体] または [BLC] に設定します。

露光モードとして BLC が選択された場合、BLC モードのレベルは図 3-2 に示すように調整できます。

EXPOSURE		WB	
1. BRIGHTNESS	◀ 5 ▶	MODE	MWB
2. EXPOSURE MODE	◀ BLC ▶	R GAIN	1- ~10
LEVEL	◀ 5 ▶	B GAIN	1- ~10
3. AGC	◀ MIDDLE ▶	RETURN	↩
4. RETURN	↩		

図 3-3 WB

図 3-2 露光

AGC:

AGC は光量が不十分なシーンでの画像の明瞭さを最適化します。AGC レベルはオフ、低、中または高に設定できます。

3.2.2 WB

カーソルを [WB] に動かし、このメニューからホワイトバランスモードを [AWB] または [MWB] に設定します。

AWB: ホワイトバランスは自動的に調整されます。

MWB: R ゲイン / B ゲイン の値を 1 から 10 までで設定します。図 3-3 に示すとおりです。

3.2.3 日中 & 夜間

カーソルを [日中 & 夜間] に動かし、日中および夜間モードとして、[カラー]、[白黒] または [スマート] に設定します。

カラー: 日中モードでは画像は常にカラーで表示されます。

白黒: 画像は常に白黒になり、低光量環境では IR LED が点灯します。

スマート: [赤外線灯] のオン / オフを切り替え、スマート IR のレベルを 1 から 16 までで設定します。

図 3-4 に示すとおりです。

DAY/NIGHT	
MODE	SMART
INFRARED	OFF
SMART IR	0- ~5
RETURN	↩

図 3-4 日中 / 夜間

3.2.4 ビデオ設定

コントラスト:

コントラストは画像の中の色と光量の差を増幅します。値は 1 から 10 までで設定できます。

シャープネス:

シャープネスは画像システムが再現できる精細さの度合いを決定します。

値は 1 から 10 までで設定できます。

彩度:

画像の彩度レベルを設定できます。値は 0 から 10 までです。

DNR:

DNR は特に低光量条件においてノイズの度合いを低減し、より正確で鮮明な画像品質を実現します。値は 0 から 7 までで設定できます。

ミラー:

ミラーステータスを [水平]、[垂直]、[水平および垂直] または [オフ] に設定できます。

3.2.5 リセット

すべての設定をデフォルトにリセットします。

3.2.6 終了

終了、または保存して終了が選択できます。

3.2.7 保存 / 終了

カーソルを [保存と終了] に動かし、[OK] を押すと、設定を保存してメニューが終了します。